



# 風は海から

令和4年10月31日  
令和4年度  
横浜市立西富岡小学校  
学校だより 11月号 No.7

## 絆をつなぐ50周年運動会

横浜市立西富岡小学校  
校長 黒田 由希子

さわやかな秋風が吹く中、西富岡小学校の50回目の運動会が行われました。ここ2年は新型コロナウイルス感染症対策のため、縮小開催になっています。今年こそ！と思いましたが、やはり感染対策を施しての運動会となりました。しかし、昨年とは違い、子どもたち全員が一堂に会することができたこと、得点を入れた徒競走や学年競技を実施することができたこと、応援団やリレーなどの特別種目が実施できたことなど、少しずつですが前進させることができました。

学校でも、久しぶりに子どもたちが練習に励む姿が戻ってきました。最初のころはぎこちなかった演技や競技も、日を追うごとに動きがよくなり、完成度が高くなっていきました。運動会という行事を通して、友達と励まし合い、アドバイスし合いながら絆を深め、最後まであきらめずに粘り強く取り組む気持ちが育ってきたように感じます。

今年の運動会のスローガンは「心を燃やして 楽しめ！！50周年運動会！！」。「心を燃やして楽しめ」という言葉に、これまで思うように行事が開催できなかった悔しさを、今年こそ晴らしていこうという子どもたちの強い思いが感じられました。その言葉通り、今年の50周年運動会は、練習の成果を存分に発揮し、体全体を使う楽しさや躍動感、団結力が表れていたように思いました。また、5、6年の高学年児童は運動会に必要な様々な仕事を分担し、自分たち自身の手で運動会を運営しました。「学ぶ」ことは「まねる」ことから始まると言われています。昨年が分散開催で児童の係は無かったため、6年生にとっては、初めての係の仕事。どうすればよいのか、手本が無い中での探りながらの活動だったと思いますが、そこは、最上級生。一生懸命に、そして責任をもって任された仕事に取り組んでいました。5年生は今回6年生の仕事に取り組む姿を見ることができたので、来年度は下の学年をリードしながら取り組んでいくことと思います。

創立50周年の記念として、今年はソーラン節の法被をつくりました。今回、6年生がそのお披露目をしてくれました。閉会式では6年生から5年生に法被が贈呈されました。50周年という機会に、この法被を通してまた新たに絆がつながっていく、そんな素敵な運動会になりました。

保護者の皆様、地域の皆様、当日は子どもたちへの温かい応援をたくさんいただきました。観覧スペースなど十分ではなかったと思いますが、ご支援・ご協力をいただき、どうもありがとうございました。50周年を迎えた西富岡小学校、伝統の絆を受け継ぎながら、また新たに教育活動を進めていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。